2022 年4月開校 下田市立下田中学校 「校章」デザイン募集

2022 年4月に下田市内4つの中学校(稲梓中学校、稲生沢中学校、下田東中学校、下田中学校)が統合し、新たに「下田中学校」としてスタートします。生徒一人ひとりが下田市に誇りを持つとともに、未来の下田を担う人材の育成を目指し、また地域から愛され親しまれる中学校になることを願い、「下田中学校」にふさわしいシンボルとなる「校章」のデザインを公募します。

募集内容	2022 年4月に開校する「下田市立下田中学校」の校章デザイン
募集期間	令和2年4月1日(水)~令和2年5月29日(金)
応募対象者	どなたでもご応募いただけます(未成年者は保護者の承諾が必要です)。
	応 募 応 募 対 象 者 応 募 方 法
	市 内 各学校で応募用紙(市内児童生徒用)を配付します。先生から十分な説明を受け 児童生徒 て、応募用紙に記入し、応募用紙を折らずに先生に提出すること。 応募用紙(一般用)は広報しもだ4月号配付日に各戸配付及び以下の配付場所に て、配付します。また、市ホームページでも応募用紙をダウンロードできます。
応募方法等	応募用紙以外での提出も可能です(提出する際、デザインに込めた思い、応募者情報を必ず記入し、提出すること)。応募用紙は折らずに提出すること。※未成年者は保護者の承諾が必要です(市内児童生徒は専用応募用紙使用)。 一 般 【一般の方の応募用紙提出方法】 1 教育委員会学校教育課へ直接持参。 2 教育委員会学校教育課メールアドレスに <u>応募用紙データを添付</u> し送信。電子データ(形式 JPEG/PDF・3 MB 以下)での提出も可。
	3 教育委員会学校教育課「新中学校校章等応募係」宛てに応募用紙を郵送 (<u>締切日消印有効</u>)。
応 募 条 件 (要確認)	 (1) 応募する校章デザインは、未発表のオリジナル作品に限ります。 (2) 応募された校章デザインは、返却いたしません。 (3) 応募作品は1人につき、1点とします。 (4) 採用されたデザインに関する一切の権利(著作権等)は、下田市教育委員会及び下田中学校に帰属します。 (5) 採用されたデザインは、一部補作・修正を行う場合があります。 (6) 応募にあたって要する費用は、応募者の負担とします。 (7) 作品の著作権等について、第三者からの異議申し立て、苦情があった場合、費用負担などを含めて応募者が対処するものとします。また、採用後でも作品の類似、盗作または募集要項違反が認められた場合、採用を取り消すこともあり、違反作品による損害についても応募者が対処するものとします。 (8) 応募にあたりご提供いただきました個人情報は、今回の目的のためにのみ使用いたします。ただし、採用作品の応募者氏名は公表いたします。
応募用紙配付場所	・下田市役所 ・下田市教育委員会 ・下田市民文化会館 ・下田市立各小中学校 ・下田市立幼保こども園
選考方法等	(1)静岡大学教育学部協力のもと、下田市立学校統合準備委員会が選考し、下田市教育委員会へ答申、下田市教育委員会の承認をもって最終決定となります。(2)採用作品の応募者へは下田市教育委員会から直接通知します。(3)採用作品は、下田市立学校統合準備委員会だより・広報しもだ・市ホームページ等で公表するとともに、応募者氏名等を公表することに同意しているものとします。(4)採用作品の応募者には、賞状及び1万円相当の図書カード等を贈呈します。
問 合 せ 先	下田市立学校統合準備委員会(事務局:下田市教育委員会 学校教育課 学校教育係) 〒415-0024 静岡県下田市四丁目 6番 16 号 電話:0558-23-3929 メールアドレス: <u>s-kyoui@city.shimoda.shizuoka.jp</u>

【参考】現在の4中学校の校章・学校教育目標等

稲梓中学校

稲生沢中学校



(1) 梓の葉 稲梓に自生する粘り強い広葉樹で古く 日本人の用いた梓弓の材料。

(2)米 粒 稲梓には地区民の消費する米を生産し、 なお余る水田がある。米作りは日本人の 小の故郷ともいえよう

(3) 三角形 知・徳・体の均衡した優れた人格の形成 を願っている。

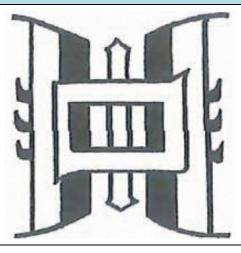
心の故郷ともいえよう。

学校経営の礎 「養 英 材」 学校教育目標 「共に磨き合う生徒」 校 訓 「睦 励 学」 学校教育目標 「他を思う 求めて励む 自ら学ぶ」

稲穂は地名を、枠取り蛍雪の雪をデザインしたもの。

下田中学校

下田東中学校



「中」の左右の2艘の船が白浜・浜崎中が合併した形を表し、船の左右の波は板戸・長田・原田・外浦・須崎・柿崎を表している。

内輪の円は「下田」という文字を図案化したものであり、外輪は米使ペリーの来日によって西洋文明が下田を中心に広がっていったということを意味している。現代においても文化発祥の地であるという誇りを持たせその史実に基づいて、ここ下田中学校が賀茂地区の中心として発展していくという願いを込めたものである。先端を丸くしたのは生徒が円満な人間に成長してほしいという願いを込めたものである。一見、船の舵輪に見えることは、港町下田という意味を含んでいる。

学校教育目標

「志高く 本気で取り組む生徒

一 聴こう 考えよう チャレンジしよう 一 」

学 校 訓 「元気・根気・勇気」

学校教育目標 「志をもち 気力みなぎる生徒」